

## 〔資料－1〕

### アルカリ性洗剤の苛性ソーダ濃度と洗浄力の関係

昭和63年8月1日

#### I. 油汚れ洗剤の評価方法

##### 1. 酸化変性油塗布試験板の調整方法

###### (1) 酸化変性油の調製方法

200ccビーカーに大豆・なたね調合油（日清天ぷら油）100gを秤とり、ステアリン酸亜鉛粉末（試薬1級）3.88gとステアリン酸コバルト粉末（試薬1級）0.53gを添加した後、ガラス細管より空気を吹き込み（0.2L/min）ながらマグネチックスターラ上で130℃、2時間加熱攪拌する。その後、カーボンブラック（小宗化学薬品）0.2gを分散させる。

###### (2) 酸化変性油の塗布方法

ステンレス板（SUS304、厚さ2mm、25×25cm）の表面をサンドペーパー（AA-120）で充分磨いた後、クロロホルムで洗浄する。このステンレス板にハケを用いて2gの上記酸化変性油を均一に塗布した後、140℃、30分加熱したものを試験板とする。

##### 2. 洗浄力評価法

###### (1) 洗浄方法

試験板表面に綿不織布（リドクッキングペーパー、4×4cm）を置き、洗剤試料1.6mlを布全体が濡れるように滴下し1分間放置する。その後、綿不織布を取り除き、綿不織布（4×4cm）を巻付けたガラス棒（φ=6mm）で30g/cm<sup>2</sup>の力で10回こする。次に水を含浸させた綿不織布で軽く試料板を拭き取る。

###### (2) 判定方法

汚れの落ち具合を下記基準で視覚判定する。

〈判定基準〉5点：完全に油が除去される。

4点：大部分の油が除去される。

- 3点：ほぼ半分の油が除去される。
- 2点：少しの油が除去される。
- 1点：極くわずかな油が除去される。
- 0点：全く油が除去されない。

## II. 洗淨力評価結果

〈供試洗淨剤の組成〉

NaOH；0～10（%）、ポリオキシエチルアルキルエーテル；5  
ブチルカルビトール；5、トリエチルリン酸ソーダ；5、水；バランス

